

衆議院拉致問題委員会ニュース

H20.6.19 第169回国会第5号

6月19日、第5回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・町村国務大臣（拉致問題担当大臣）、泉国家公安委員会委員長、山本内閣府副大臣、小野寺外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

高木 毅君（自民）

- ・制裁解除のタイミング見通しと「再調査」の実効性確保の見込みはどうか。
- ・北朝鮮が行う拉致問題の「再調査」における進展等がなかった場合に対北朝鮮制裁措置を再度強化する必要があると思うがどのように考えるか。

江田 康幸君（公明）

- ・「再調査」に我が国が関与する必要があるのではないか。その見通しはあるのか。また、明らかになっていないものを含め、すべての拉致被害者を再調査対象とすべきではないのか。
- ・「再調査」の約束が「拉致問題の進展」に該当するか。進展といえる調査結果とはどのようなものか。

原口 一博君（民主）

- ・民間の人道支援物資輸送のために北朝鮮籍船が入港する場合に国会承認が必要なのではないか。また、朝鮮総連は民間とみなすのか。
- ・ライス米国務長官の北朝鮮に対する米国のテロ支援国家

指定解除に関する発言について日本政府に事前通告があったのか。

松原 仁君（民主）

- ・今回の日朝実務者協議は外交的に失敗だったのではないのか。
- ・テロ支援国家指定解除をしないよう米国政府及び来日中のヒル国務次官補へ申し入れる必要があるのではないのか。

末松 義規君（民主）

- ・日朝実務者協議における拉致被害者の「再調査」を我が国が受け入れられるものとするための方策及びそれを公表する必要性はないのか。
- ・制裁措置緩和に伴う北朝鮮籍船舶の入港回数及び輸送量の制限はあるのか。また、人道支援の範囲及び厳格なチェック方法とは何か。

笠井 亮君（共産）

- ・外交も含めた拉致問題解決に向けた懸案事項は何か。

2 山本委員長から、陳情書1件及び意見書23件が本委員会に参考送付された旨の報告がありました。

3 閉会中審査に関する件

- ・北朝鮮による拉致問題等に関する件について、閉会中審査の申出を行うことに協議決定しました。
- ・委員派遣承認申請に関する件について、委員長に一任することに協議決定しました。
- ・参考人の出頭要求について、委員長に一任することに協議決定しました。